

要望書（回答）

1 白鳥王子アイスアリーナウォーミングアップエリアの設置について【継続】

白鳥王子アイスアリーナは、アイスホッケー競技を中心に国際大会や全国大会等が多数開催されていますが、現在、ウォーミングアップ及びダウンは、アリーナ前のエントランスで行われています。

関係競技団体やチーム等からも要望が寄せられていることに加え、練習効率の向上や一般客への安全性の配慮、国際大会誘致の観点から、白鳥王子アイスアリーナ近辺へのウォーミングアップエリアの設置と諸施設整備について、ご検討頂きますようお願いいたします。

【回答】（総合政策部スポーツ都市推進課 担当）

白鳥王子アイスアリーナは、アイスホッケー競技のナショナルトレーニングセンターに指定されており、各カテゴリーの日本代表による合宿や、アジアリーグをはじめとする多くの全国大会などが開催されています。

そのような中で、これまでもウォーミングアップエリアなどについての要望をいただくなど、必要性について認識しているところでございます。

今後につきましては、既存施設又は敷地内での効果的な活用について、引き続き検討して参りたいと考えております。

2 スポーツ合宿等補助制度の継続について【継続】

平成27年に設けられたスポーツ合宿等補助制度により、本市を合宿地に選ぶ団体が増加し、多数のリピート利用に繋がっています。

コロナ禍の現在、合宿で本市を訪れる方は減少してしましますが、合宿地としての知名度向上と、宿泊施設を始めとする関連事業者への経済波及にも大きな影響があることから、本制度の継続をお願いいたします。

【回答】（総合政策部スポーツ都市推進課 担当）

平成27年度に開始しましたスポーツ合宿等補助制度は、平成29年度に条件を緩和したことにより、大きく合宿件数が増加傾向にございましたが、コロナ禍による影響により、地域経済には深刻な問題であると認識しているところでございます。

今後につきましても、苫小牧市スポーツ推進計画のテーマである『活みなぎる「スポーツ都市」とまこまい』を推進するため、本制度の役割は大きいものと考えておりますので、引き続き本制度を継続し、合宿誘致を推進してまいります。

3 日本学生氷上競技選手権大会の4年に一度の開催について【継続】

日本学生氷上選手権大会（インカレ）開催について、学生が在学中に氷都苦小牧でプレーが出来るよう、4年に一度苦小牧での開催をお願いいたします。

【回答】（総合政策部スポーツ都市推進課 担当）

日本学生氷上競技選手権大会は、第90回大会より分離開催となり、直近ですと平成30年度、第91回大会アイスホッケー競技を本市で開催したところでございます。

この大会の開催につきましては、日本学生氷上競技連盟との協議が必要となりますが、現在、令和4年度の第95回大会の開催に向け取り組んでいるところでございます。

この大会は、本市の閑散期となる年末年始に開催しており、地域経済にも大きな効果があることから、引き続き関係者と開催に向けて協議してまいります。

4 総合体育館の建設について【継続】

総合体育館は、1973年に建設され、市民はもとより各種大会や合宿等でも利用され、本市のスポーツ振興に大きな役割を果たしてきましたが、老朽化に伴い新たな施設に建替える事が計画されました。

仕様立案の際、スポーツを通じた賑わいと交流人口の増加に繋がり多様な機能を有する総合体育館となるようご検討をお願いいたします。

【回答】（総合政策部スポーツ都市推進課 担当）

総合体育館につきましては、現在策定中の「スポーツ施設整備計画」でお示ししておりますが、令和10年、2028年の完成を目指して、建替え準備を進めているところでございます。

建設にあたりましては、他市の状況のほか、市民や競技団体のご意見を取り入れ、利用しやすい施設にするとともに、全道・全国規模の大会や合宿など、スポーツを通じた賑わいと交流人口の増加に繋がるような施設となるよう取り組んでまいります。

5 緑ヶ丘運動公園の合宿利用について【継続】

各施設の改修を終え、充実した機能を有する緑ヶ丘運動公園では、合宿利用が増加していますが、合宿チームのスケジュールを考慮した諸施設の利用について、ご協力をお願いいたします。

また、道央及び道北のテニス、陸上等の強豪チームは、春休み（3月）に練習場所を求めて雪の少ない地域で合宿を行っています。道内屈指のオムニコート、全天候型陸上競技場、積雪の少ない気候等、本市の優位性を活かした合宿誘致活動を推進する為、テニス場及び陸上競技場の早期運営について要望いたします。

【回答】（総合政策部スポーツ都市推進課 担当）

テニス場及び陸上競技場の早期運営につきましては、指定管理者のご協力をいただきながら、11月以降の開館延長や3月の早期オープンに取り組んでいるところでございます。

その年の積雪量などにより、開館日や早期オープン日を固定できない状況にございますが、今後も指定管理者と連携を図りながら柔軟に対応してまいりたいと考えております。

6 大会・合宿誘致事業の推進体制強化について【継続】

本協議会としても、誘致活動を積極的に行ってまいりますが、各種の誘致活動推進には、自治体先頭立ったまちぐるみの取り組みが大きな要素となることから、財政支援の継続と併せより一層の活動強化をお願いいたします。

【回答】（産業経済部観光振興課 担当）

貴協議会の大会等誘致事業につきましては、本市における交流人口の増加に伴う地域経済への波及効果が大きいものと考えておりますことから、今後も市内関係機関等と連携を図りながら、財政的な支援を行ってまいりたいと考えております。